

平成30年度「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標

【卒業時】

日常生活に関する話題や、社会問題・時事問題に関する文を読んだり聞いたりして、自分の意見や考えを論理的に書いたり話したりすることができる。



【第3学年】

履修科目:「コミュニケーション英語Ⅲ」(3/2単位/全学科) 主な教材:「Grove English CommunicationⅢ(文英堂)」
「英語表現Ⅱ」(4/2単位/全学科) 主な教材:「Vision Question English ExpressionⅡ(啓林館)」

CEFR	聞くこと(Listening)	読むこと(Reading)	話すこと(Speaking)		書くこと(Writing)
			やり取り(Spoken Interaction)	発表(Spoken Production)	
B1	1.身近な話題や知識のある社会的な話題に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができる。 2.比較的ゆっくりはっきりと話されれば、時事問題や社会問題に関する短い平易な説明を聞いて、要点を理解することができる。	1.身近な話題に関する比較的短い記事やレポート、資料から、必要な情報を読み取ることができる。 2.短い物語を読んで、あらすじを理解することができる。	1.公共の場所(店、駅など)において、自分の問題を説明し、解決することができる。 2.身近な話題や興味関心のある事柄について、準備をしないで会話に参加することができる。	1.身近な話題や関心のある事柄について、即興で説明することができる。 2.身近な話題や関心のある事柄について、まとまりのある内容を話すことができる。	1.自分の経験や身近な事柄について、複数のパラグラフから成る説明文を書くことができる。 2.関心のある分野のテーマに関する記事や資料を読んで、その概要や要点を書いてまとめることができる。
授業における主な言語活動	(1)身近な話題や知識のある社会的な話題に関する短い会話を、JTEやALTの発話や教科書等の音声教材、メディアの報道などを聞いて、概要や要点の理解を確認する活動。 (2)時事問題や社会問題に関する短い平易な説明を聞いて、要点をまとめる活動。	(1)身近な話題に関する比較的短い記事やレポート、資料から、必要な情報を読み取る活動。 (2)短い物語を読んで、あらすじを理解する活動。また、社会的な話題に関する短い会話や説明を読んで、英語の論理に沿って論説文を読み解く活動。	(1)公共の場所(店、駅など)において、自分の問題を説明し、解決する場面を想定した、ロールプレイなどの活動。 (2)身近な話題や興味関心のある事柄について、即興で会話する活動。	(1)身近な話題や関心のある事柄について、即興で説明する活動。 (2)身近な話題や関心のある事柄について、原稿をまとめるなどの準備を経て、発表する活動。	(1)自分の経験や身近な事柄について、複数のパラグラフから成る説明文を書く活動。 (2)関心のある分野のテーマに関する記事や資料を読んで、その概要や要点をグループワークや個人で書いてまとめる活動。

【第2学年】

履修科目:「コミュニケーション英語Ⅱ」(4/3単位/全学科) 主な教材:「Grove English CommunicationⅡ(文英堂)」
履修科目:「英語表現Ⅰ」(3/2単位/全学科) 主な教材:「Vision Question English ExpressionⅠ(啓林館)」

CEFR	聞くこと(Listening)	読むこと(Reading)	話すこと(Speaking)		書くこと(Writing)
			やり取り(Spoken Interaction)	発表(Spoken Production)	
A2	1.身近な話題に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができる。 2.ゆっくりはっきりと話されれば、身近な事柄に関する短い説明の要点を理解することができる。	1.日常生活において身の回りにある短い平易なテキストから、必要な情報を読み取ることができる。 2.平易な英語で書かれた短い物語を読んで、あらすじを理解できる。	1.日常生活や自分に関連した事柄に関する短い簡単なやりとりをすることができる。 2.身近な話題や興味関心のある事柄について、ある程度準備をすれば、会話に参加することができる。	1.身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。 2.身近な話題や関心のある事柄について、簡単な説明をすることができる。	1.身近な事柄について、簡単な語句や表現を用いて、短い説明文を書くことができる。 2.聞いたり読んだりした内容について、簡単な語句や表現を用いて、自分の意見や感想を書くことができる。
授業における主な言語活動	(1)個人的な事柄に関する短い簡単なメッセージを、JTEやALTの発話や教科書等の音声教材、メディアの報道などを聞いて、概要や要点の理解を確認する活動。 (2)身の回りの事柄に関する平易で短い会話や説明を聞いて、要点をまとめる活動。	(1)身近な話題に関する教科書レベルの英文を読んで、必要な情報を読み取る活動。 (2)教科書レベルの短い物語を読んで、あらすじを理解する活動。	(1)簡単な英語を用いて、短い会話をする活動。 (2)簡単な表現や語彙を用いて、意見交換をする活動。	(1)身近な事柄について、基本的な表現や語彙を用いながら、即興で説明する活動。 (2)身近な話題や関心のある事柄について、基本的な表現や語彙を用いながら、原稿をまとめるなどの準備を経て、説明する活動。	(1)身近な事柄について、基礎的な表現や語彙を用いながら、簡単な説明文を正確に書く活動。 (2)学習した表現や語彙を用いながら、さまざまな話題について、自分の意見や感想を書く活動。

【第1学年】

履修科目:「コミュニケーション英語Ⅰ」(3単位/全学科) 主な教材:「Grove English CommunicationⅠ(文英堂)」
履修科目:「英語表現Ⅰ」(2単位/全学科) 主な教材:「Vision Question English ExpressionⅠ(啓林館)」

CEFR	聞くこと(Listening)	読むこと(Reading)	話すこと(Speaking)		書くこと(Writing)
			やり取り(Spoken Interaction)	発表(Spoken Production)	
A1~A2	1.日常生活において必要となる基本的な情報を聞き取ることができる。 2.ゆっくりはっきりと話されれば、社会的な話題について、話しの概要や説明の要点を捉えることができる。	1.日常生活において身の回りにある英語の中の語句や単純な文を理解できる。 2.身の回りの事柄に関して平易な英語で書かれたごく短い説明を読んで、特定の情報を捉えたりする活動。また、それらについて、英語で話したり書いたりする活動。	1.相手の発話を理解できない場合など、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができる。 2.基本的な語句や表現を用いて、学校生活や地域社会に関わる話題や課題について、意見や気持ちを簡潔に述べることができる。	1.使用する語句・表現の提示や事前の準備があれば、日常的な話題について、必要となる基本的な情報を伝えることができる。 2.使用する語句・表現の提示や事前の準備があれば、ごく身近な事柄や出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	1.目的や読み手を意識しながら、自分に関するごく限られた情報を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 2.目的や読み手を意識しながら、ごく身近な事柄について、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
授業における主な言語活動	(1)必要な情報を聞き取る活動。またその情報を伝え合う活動。 (2)発表を聞いて、概要や要点を捉える活動。また、得た情報を基に英語でやり取りする活動。	(1)日常生活に関連した身近な話題や、自分が必要とする情報を得る活動。また、得た情報を伝え合う活動。 (2)簡単な語句や文で書かれた、説明文などを読んで、概要や要点を捉えたり、特定の情報を捉えたりする活動。また、それらについて、英語で話したり書いたりする活動。	(1)家族や友人、趣味や興味などについて、簡単な語句や表現を用いて即興でやり取りする活動。 (2)社会的な話題や課題について、意見や気持ちを伝え合う活動。また、賛成や反対とその理由などを伝え合う活動。	(1)事前に発話することを準備した上で、家族や友人、趣味や興味などについて簡単な語句・表現を使って短いスピーチをする活動。また、スピーチについて英語で質疑応答する活動。 (2)事前に発話することを準備した上で、学校生活や地域社会に関わる話題や課題について、視覚的補助を活用しながら、情報や意見を発表する活動。また、発表内容について英語で質疑応答する活動。	(1)目的や読み手を意識しながら、自分に関する基本的な情報を簡単な英語で書く活動。また、書くために話したり、書いたことに対して互いに返答や返信をする活動。 (2)学校や地域の話題に関することを、書く過程を大事にしながら、書く目的や種類に合わせて英語で書く活動。また、書くために話したり、書いたことに対して互いに返答や返信をする活動。

【参照】・外国語ワーキンググループにおける審議の取りまとめについて(報告)平成28年8月26日 文部科学省
・「中学校学習指導要領解説 外国語編 平成29年7月」
・「各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標設定のための手引き」平成25年5月 文部科学省
・「言語活動の充実に関する指導事例集」の「外国語科 指導事例」(高等学校版)
・「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料(高等学校 外国語)」